



20年経っても同級生が集まれば当時へタイムスリップ。みんな終始笑顔で久しぶりの再会を楽しみました。

## 21年前のタイムカプセル開封

四万十森林管理署管理の国有林と幡東森林組合とが分収林契約した山に、平成6年2月22日「21世紀への夢を運ぶ分収造林」の記念として埋めたタイムカプセルを、1月2日、21年ぶりに開封しました。



雪の散らつく中、当時の佐賀中 学生24人と森林組合職員が参加。タイムカプセルには、当時の佐賀の風景や、学校での授業風景、個人写真、「20年後の自分」と題した作文、感想文が入っていました。参加者たちは、当手を振り返り、思い出話で盛り上がりました。  
(幡東森林組合)

## 幡多信用金庫と協定締結

黒潮町は、12月25日に幡多信用金庫と「業務連携・協力に関する協定書」の締結調印式を行いました。

この協定は、地域密着型の金融機関として、地域経済への貢献や社会貢献活動などの積極的なサポート活動を展開している幡多信用金庫と業務の連携・協力を行うことで、本町の産業振興を図ることを目的にしたものです。協定締結により、金融機関としてのノウハウやネットワークを提供いただき、また、情報の交換や共有を行い、地域活性化につなげていきます。連携や協力の具体的な内容については、今後の意見交換の中で決定していきます。  
(産業推進係)



協定書を手に、笑顔で握手を交わす幡多信用金庫・松田基理事長と大西町長。

## 北郷地区でミニ門松作り教室



試行錯誤しながら枝や花を生けて門松を作る参加者。素敵な作品に仕上がりました。

自分が作った門松で新年を迎えようと、12月23日、集落活動センター北郷で「ミニ門松作り教室」がありました。フラワーデザイナーの三保木一夫さんを講師に迎え、地区内外から参加した15人が生花を使ったアレンジ門松を作りました。

同センターのメンバーが山から切り出した竹筒に、松や梅、菊、カーネーションなど、色とりどりの素材を生けていきます。

「床に置くか、棚の上に置くか、置き場所に合わせた生け方を意識して」と三保木さん。松の枝を曲げる、花の配置を変えるなど指導を受けながら、参加者それぞれが世界にひとつだけのオリジナル門松を完成させました。

## 第4回黒潮ふれあい交歓会

大方ライオンズクラブ(森近陽一会長)の主催する「黒潮ふれあい交歓会」が1月16日に入野で行われ、各団体から64人が参加し、異業種交流を図りました。

会では、大西勝也町長が地方創生や黒潮町缶詰製作所などの取り組みを紹介し、「魅力ある町を作るため、町が一丸となって取り組む必要がある」と参加者に協力を呼びかけました。また、各テーブルに缶詰の試食用意し、町の新産業をアピールしました。

その後、会食をしながら参加者同士で自由に交流。「いろんな分野の人と交流できてよい」「黒潮町にはこのような場があり、とても活気がある」と好評でした。



黒潮若手の会や老人クラブ、行政・学校・福祉関係者など、さまざまな分野から、昨年を上回る64人の参加者が集まりました。